

ぶらちなくらぶ会報 48号

小規模多機能ホームスマイルぶらちな の第三者評価を受けました。

「開所して一年以内に受審」というのに気付いたのが7月2週に入ってから。
昨年9月に開所したので8月中には事業所評価を出さないといけません。さあ大変！

急遽、調査機関と打合せ、7月中に資料提出、8/11 訪問調査までに根拠文書探し。
通常業務だけでも一杯いっぱいなのに・・・焦る気持ちに行動が追いつきそうに有りません。

日頃、生活者視点で動いている私の脳ミソは役所的文書表現の意味理解に頭の中の翻訳機は思う様に働きません。でも日々懸命に利用者本意で動いている現場職員の行動が「私の資料で全てが評価されてしまう」と思うと、へたな言い訳などして居る場合ではありません。

そんな最中、一件の受入れ相談が入って来ました。今回の大震災の被災者の方でした。

当然、受入れ実施する方向で進める事としました。
しかし、現実問題として新規受入れは只でさえ労力が掛かる所に被災者という事で特別な配慮と確認作業も有り、時間が無い・・・うわあ是はもう第三者評価どころではない。

「私が今遣るべき事は言うまでも無く、目の前の生活者支援なんだ」

確固たる気持ちにさせてくれたのは、その方がお持ちの罹災証明書でした。多分、混乱の中で発行されたと思われる町長名の手書きサインと日付がそこにありました。
想像に飛躍が有り過ぎるかも知れませんが、ユダヤ人を救う為に手を傷めながらも走り出す列車の中でギリギリまでビザ発給をし続けた杉原地畝さんを彷彿とさせる力がそのサインにはありました。

私の脳ミソは、山積みされた文書の前では、動きが鈍くなりますが、書類の其の向こうから実直に生きる人の現実が映像として飛び込んで来た時がフル回転する構造にになっています。
周囲の皆其々が自分の置かれている立場の中で其々の命の尊厳を守る為に今遣れる事、遣るべき事に集中し懸命に動いている事にも後押しされて、無事被災者の受入れがスタート出来ました。

が、第三者評価の準備は思う様に捗らず、訪問調査の当日は調査員のおじ様達に「〇〇の事象を証明出来る文書は有りますか？」みたいな極めて役所的な質問に私はタジタジになりながら「ええっとお～・・・A様かB様の活動記録か・・・支援経過か・・・担当者会議録のどっかに記録してると思ったけど・・・確かここにあった筈・・・」と該当箇所探しの神経衰弱でも遣っている様な緊張の一日を過ごす事になりました。

調査途中、負け犬の遠吠えの如く「評価結果はどうあれ『ぶらちな』の職員は、霞ヶ関の優秀な頭脳では見えない所に光を当て、弱い立場に有っても愚直に生きる人の尊厳を守る為に公正中立の精神を持って体当たりで走り回っています!!」等と筋論を調査員達にうなっていました。

評価結果は9月にネット公開される様です。 乞うご期待？！

☆ 追記：7月から『ぶらちなくらぶ』のHPで『理事長からのキラキラ物語』として大竹の考えをブログ発信しています。が、この会報誌は紙媒体の方が馴染みの有る会員に向け継続発行する事としました。
そして本来は会員の情報共有手段として内部配布をしていただけでしたが、情報公開の考え方からHP開設以来、広く社会に紹介しています。

☆

☆

☆

☆ 記：大竹恵美子 ☆



📧 事務局よりお知らせ 4件 📧

①子育てサポーター養成講座全日程終了しました。

7/1～7/22の学びびあ[平日]、7/24～8/28竹ノ塚地域学習センター[土日]の二つの日程が全日程終了しました。今回は受講者がのべA日程57名、B日程50名の計107名(前年度補講者含む)となり、うち今年度修了認定者はA日程50名、B日程37名の計87名となりました。沢山の講師の皆様にご協力頂く事ができ、大変内容の濃い講座が開催できたことをここに感謝申し上げます。合わせて、8日間44時間を修了した受講生の皆さんの今後の活躍を期待しております。

②保育支援者募集中!!

区内の団体がイベント/講演会を開催する際の保育室運営に関わる支援依頼が増えてきています。各イベントの保育支援者を募集しています。謝礼等の条件は主催者により若干異なります。お手伝い頂ける方はぜひ事務局までご連絡下さい。

- ・ 9/11(日) 14:00-16:00 ギャラクシティ、支援者5名程度(お子さん定員15名)
- ・ 9/27(火) 13:40-15:40 梅田地域学習センター、支援者10名(お子さん定員20名)
- ・ 10/26(水) 9:40-11:40 梅田地域学習センター、支援者10名(お子さん定員20名)
- ・ 10/12(水) 10:15-11:45 竹ノ塚保健総合センター、支援者5名(お子さん定員15名)

③映画「うまれる」への協賛について

ぶらちなくらぶでは9/11(日)にギャラクシティにて上映される映画「うまれる」に協賛致します。②の保育室運営の他、宣伝等に協力しています。前売券も用意がございますのでぜひご購入ください。尚、9月生まれの方は無料でご覧いただけます。

④インターン生について

東京未来大学の学生8名をぶらちなぱーく、新田キッズルームにて8月から順次受け入れています。座学とは違った保育の体験のみならず、保護者の方との交流やイベント開催のアシスタントとして活躍して頂いています。今後、介護分野の学生さんなどにも参加していただけるよう、各方面に打診していきます。



皆様のご意見、ご感想、ご質問、寄稿など会報誌発行の協力お願いしまあ～すっ!

毎月末は9時15分～11時15分にこども家庭支援センターにて子育て定例会、毎月1日は10時半～12時スマイルぶらちなにて介護ヘルパー定例会です。外部の専門家を招いたり、内部の仲間と一緒に情報交換しています。大変、勉強になりますので少しの時間でも参加をお願いします。『皆の声ポケット』もご利用下さい。



発行所	特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ
所在地	〒120-0005 足立区綾瀬 6-5-12-306(アドラブル綾瀬)
連絡先	TEL 5697-9200 FAX 5697-9020
	編集 小谷典史 発行責任 大竹恵美子